

## 1. 「藤沢駅周辺地区再整備構想」とは

藤沢駅周辺は、整備以来30年近く経過し、様々な課題が顕在化してきています。

例えば、

駅利用客の利便性向上のためのJRや小田急の駅施設の改良、  
バリアフリーや安全安心の視点からみた駅前広場やデッキの改良、  
北口通り線を整備することによる北口周辺の交通処理や民間の土地利用の促進、  
将来的な市庁舎の改築等を見据えた公共施設の再編、  
老朽化しつつある駅周辺の民間建築物の建て替えに対する誘導、  
駅南北の商店街の活性化 など多くの課題があります。

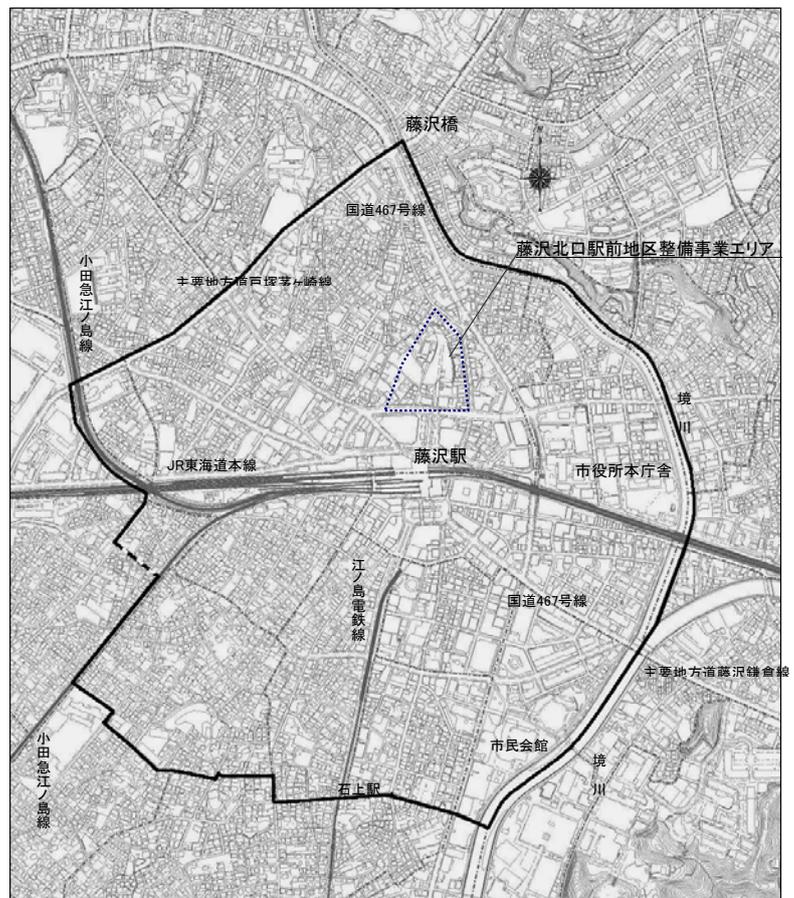
これらの課題に応えるためには、藤沢駅周辺の将来の姿をどのように描き、また、様々な主体がその将来像や将来像を形成する手法、土地利用や誘導方針を共有化して、それぞれの役割分担のもとに都市づくりを進めることが不可欠です。

そのため、地域住民、学識経験者、地元経済団体、関係機関、行政からなる藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会（以下「委員会」という。）を設置のうえ、藤沢駅周辺約145haあまりのエリアを対象とし、再整備構想の策定に向けた検討を進めるものです。

## 2. 藤沢駅周辺地区とは

藤沢駅周辺地区とは、藤沢駅を中心として北は藤沢橋、南は市民会館（南消防署）、東は境川、西は小田急江ノ島線までの一帯（約145ha）とします。

その中に現在事業進行中の「藤沢北口駅前地区整備事業エリア（約4ha）」を含みます。



## 3. 藤沢駅南北まちづくり市民検討部会の位置づけ

### (1) 委員会

委員会は、委員会と2つの部会（「藤沢駅改良専門部会」と「藤沢駅前南北まちづくり市民検討部会」）の二層構造です。

<検討事項>

- ・藤沢駅の南北を一体化と捉えた「まち」の将来像や「まちづくり」の理念形成、方向性など
- ・「公共施設再整備計画」をふまえた「まちづくり」のあり方など

